

持続的成長のためのCSR活動

環境

製品ライフサイクルアセスメントの充実

脱炭素・循環型社会の実現に貢献するために、製品・サービスのライフサイクルに着目して、研究開発・設計段階はもとよりマーケティング、購買、物流、生産・検査、営業から廃棄に至るまで環境への配慮を徹底する。

廃棄物の少ない製品設計

富士レビオでは、医療機関で使用される試薬について、設計の段階から環境側面を考慮しています。検査に使用された容器は、感染性の観点からリユースが不可能となっています。一方、顧客満足度調査のご意見でも、環境面に配慮した製品についての需要が高まっていることから、廃棄物の量を減らす施策としてのボトル試薬をラインアップに加えました。

グローバル基準を満たす環境設計

みらかグループがグローバル展開を進めていく中で、各国の環境基準への準拠が求められています。特に環境に関する取り組みが進んでいる欧州ではREACH規則において界面活性剤の使用が禁止されているため、研究や試験を行い、基準を満たす改良を進めていきます。

また、パッケージそのものの素材や組み立てる際の接着剤などにも、十分に配慮する必要もあり、調達先などサプライチェーン全体で対応する体制も構築していきます。

製品のライフサイクル

富士レビオ

主力製品の臨床検査機器ルミパルス[®]においては、製造から使用、再利用、廃棄(リサイクル、埋立)までの一連の工程において循環型社会への配慮が施されています。



① 回収



② 熔融処理



③ 鉄の加工



④ 鉄鋼製品



⑤ 路盤材

ルミパルス機器の廃棄処理は数千度の電気炉の熱で熔融処理され、鉄鋼資源や路盤材などの循環資源として活用されます。

エスアールエル

八王子ラボラトリーで排出される感染性廃棄物の一部は、リターンペールに入れて、下記のような滅菌・破碎工程を社内で行います。これらはプラスチック廃棄物として業者が回収され、中間処分場にて、固形化燃料(RPF)として生まれ変わります。



検査で使用したプラスチック資材



感染性廃棄物を回収



滅菌処理



滅菌後、洗浄

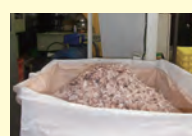
当容器は、何度も再使用します。



RPFとして再利用



廃プラスチックとして回収



破碎後



破碎処理

滅菌したプラスチック資材を破碎し、回収します。